

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙 「みらい」
NO. 3923
19年1月18日(金)
・Fax 095-828-1953

2019年を 平和な年へ

おはようございます。

新聞各社の元日社説のタイトルをみる。

朝日 政治改革三〇年の先。権力のあり方を問う、読売 米中対立の試練に立ち向かえ。新時代に即した政策を。
日経 不確実性にたじろがず、改革を進めよ。
毎日 次の扉へ。AIEと民主主義

世界の自国第一主義の流れのなかに、読売は「日本は幸いに社会の極端な分断、極右、極左勢力の台頭、深刻な格差といった欧米にみられる混乱を免れている」。また日経も「日本は中間層が分厚く政治的に安定しているし、欧米でみられるような世論分断がさほどでもない」と書く。

こうした日本の政治に、朝日は「政治改革（小選挙区制）の行きついた先は、安倍一強で、権力の使い方も実に荒々しい」と、批判し、「国民主権と内閣、国会のあり方を問い直す」と書く。



安倍一強とはなにか。それは日本国民会議一色の政治をいう。この基本は、先の戦争のアジアへの加害を認めず、戦後、国際社会への復帰をな

したサンフランシスコ平和条約や東京裁判を否定する政治である。これから見ても日本は、諸外国と同じく、すでに極右の国となっている。新聞各紙はこれに触れていない。

自民党は保守であるが、かつてはリベラルも含む自由主義思想もあつたが、いまはこの国民会議との境目が不鮮明となっている。こうした政治にアジア諸国や欧米は、これを歴史修正主義と批判する。しかし日本ではこれを「反日」の不当な日本攻撃と受け止める。こうした関係性のおかげでこの矛盾と対立は解決できぬのか。



このような緊張感の中に二〇一九年が始まった。現在の世界は、第二次世界大戦の戦後処理国際条約と領土問題が基本である。だが、北方領土も、尖閣や竹島問題も、それぞれに「自国のものだ」という主張がある。

なぜそうなるのか。一つには各国に、自国第一主義のナショナリズムが台頭してきているからだ。そして次に、平和条約は次の戦争までの一時

の安定であるという、過去の歴史的事実から見ても、条約の矛盾と限界が見え始めているのだ。

日本と隣国はこれに対して「これまで相互に「棚上げ」という「対立回避」の外交で対応してきた。しかし、いま国家主義の台頭で、国内側からの批判も強く、その余裕が双方に失われてきているからだと思う。

その結果は明白である。対立紛争が解決できなければ、次は戦争である。戦争と平和はくり返す。一度は悲劇として、また二度目は喜劇として、そして今度は三度目の試練である。

七四年前の戦争末期、一九四五（昭和二〇）年一月二〇日、日付でいつと明後日だがアメリカ大統領のルーズベルトは就任式の演説で、国家主義を批判して、われわれは一人では安らかに生きることができない。われわれは自身の幸福が遠い他の国々の幸福にかかっていることを学んだ。われわれは、世界の市民、人類共同体の成員となるべきこ

とを学んだ」と演説した。まさに国家主義の敗北の瞬間だった。

大戦末期、連合国軍はヤルタやポツダムで会談を重ね、日本やドイツに「無条件降伏」を通告する。五月にドイツは降伏し、七月、日本はこれを「黙殺」し、あの悲惨な広島・長崎の原爆投下、敗戦へとつながる。

それから七四年がたった。三国同盟で日本と一緒に戦争をしたイタリアとドイツは敗戦後、国歌、国旗を変え、加害を反省し、新たな国として生まれ変わる。イタリアは国民投票で王制も廃止する。

日本はどうか。憲法こそ明治の大日本帝国憲法からいまの平和憲法へ変えたが、ほかはなんにも変わっていない。

教育勅語の復活に No! 改憲が動き出し、競争問題では、アジア諸国への加害と反省を否定する安倍政治である。安倍首相はポツダム宣言を「読んでいない」ともいう。



こうした不誠意な政治姿勢が隣国から問われているのである。

現況の根は、戦後処理に関わる歴史的事実を無視する日本第一主義の歴史観にある。これこそ戦争末期に、三国同盟で国益を失い、またポツダム宣言を黙殺し、世界の虎児となり、悲惨な結末を体験した過去の政治と同じではないか。



二〇一九年は外交による平和が求められる。力による平和は、多くの人命や金の負担と犠牲が必要であり、正しくない。しかし国内の現実にはマスコミも政府も「相手が悪い」一色の声で、反中、嫌韓にあふれている。

国民を戦争に引き込むための手段として、ドイツのナチの政府高官は「相手が攻撃してくる」といえばいいのだ」と言ったが、まさにいまの日本がそうなのではないのか。私たちは冷静に、戦争を否定する声を出し続ける。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化を。

めざせ、均等待遇

なくそう差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-御手洗, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-山口, ゆうちょ銀-上筋, 他支部・分会の役員へ。